

新しい本のしょうかい

「こどもにすすめたい本2024」(山梨県立図書館、山梨県公共図書館協会)より

作品	作/絵/訳	発行年	出版社
一年一組せんせいあのね こどものつばやきセレクション	鹿島和夫/選 ヨシタケシンスケ/絵	2023	理論社
かえでちゃんとひみつのノート	大久保雨咲/作 植田真/絵	2023	小峰書店
甲府の動物園物語	三井ヤスシ/さく・え	2023	ミツイクリエイティブ
その絵ときたら!	ミシェル・マーケル/文 バーバラ・マクリントック/絵 福本友美子/訳	2023	ほるぷ出版
トットちゃんの15つぶのだいず	黒柳徹子/原案 柏葉幸子/文 松本春野/絵	2023	講談社
はっぱのほん	いわさゆうこ/著	2023	文一総合出版
目でみるえいごのずかん	おかべたかし/文 やまでたかし/写真	2023	東京書籍
やさいのはな なんのはな?	宮崎祥子/構成・文 網野文絵/写真	2023	岩崎書店
世界でいちばんリクエストのおおいくつ屋さん	十河孝男、十河ヒロ子/文 本田亮/絵	2023	合同出版
どうぶつみずそうどう	かじりみな子/作	2023	偕成社

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく. Com より



令和6年度版
小学校1・2年生向け

山梨県教育委員会
しなやかな心の育成プロジェクト



家族みんなでお家で読書

毎月第1日曜日(家庭の日)と第3日曜日(青少年をはぐくむ日)を

家読デーとして、**家族そろって読書をしましょう。**

読書きっかけに、家族のコミュニケーションを豊かに!!

◆令和6年10月

◆発行 山梨県教育委員会生涯学習課

〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号 TEL 055-223-1772

<https://www.pref.yamanashi.jp/shougai-gks/>

山梨県教育委員会「しなやかな心の育成プロジェクト」生涯学習課の取組はこちらから⇒





リストの見方

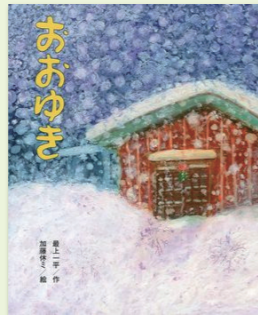
- ✔ 1 作品名
- ✔ 2 作者名
- ✔ 3 出版社名、発行年
- ✔ 4 家読をするときのヒント



- 1 かんけり
- 2 石川えりこ／作
- 3 アリス館 2018年
- 4 ともだちとかんけりをするちえちゃん。ともだちはみんなおにつかまっています。さいごにのこったちえちゃんは…。



きりみ
長嶋祐成／え・ぶん
河出書房新社 2018年
スーパーにうっている魚のきりみ。もともとはどんなすがたでおよいでいるのか、どんな顔をしているのか？しりたいですね。



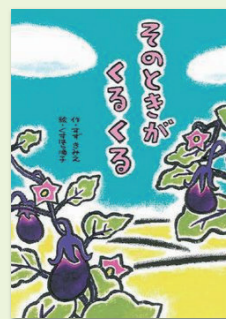
おおゆき
最上一平／作
加藤休ミ／絵
鈴木出版 2019年
ある町でおおみそかの前日、大雪がふり、うごけなくなった車で大じゅうたい。町のみんなはどうしたのでしょうか。



あいちゃんのひみつ
竹山美奈子／取材・文
えがしらみちこ／絵
玉井邦夫／監修
岩崎書店 2020年
ダウンしょうをもつあいちゃんのママからのお手紙を読んでください。りかいすること、ともに生きていくことの大切さが分かります。



かつたつもり
× もらったつもり
かさいまり／さく
北村裕花／え
くもん出版 2020年
聞きまちがい、かんちがいから2人は大げんか。どうやってかいけつしたのでしょうか。



そのときがくる
すぎきみえ／作
くすはら順子／絵
文研出版 2020年
にが手な食べものがあるかな？にが手な食べものがあったら、だいじょうぶ。いつか大すきな食べものになるかもしれませんよ。



地球のことをおしえてあげる
ソフィー・ブラッコール／作・絵
横山和江／訳
鈴木出版 2021年
地きゅうのすべてが分かります。おなじ星にすむなかま、そしてすばらしい地きゅうをもっとすきになります。



ヘビと船長
ふしみみさを／文
ポール・コックス／絵
BL出版 2021年
ふこうがつづき、ふねをうしなつたせん長さんが、ふしぎなヘビと出会い、たびに出かけます。たび先でおこつたできごととは…。



給食室のいちにち
大塚菜生／文
イシヤマアズサ／絵
少年写真新聞社 2022年
きゅうしょくはどうやってできるの？あんぜんおいしいきゅうしょくがとどくまでのようすをたのしく学べる本です。



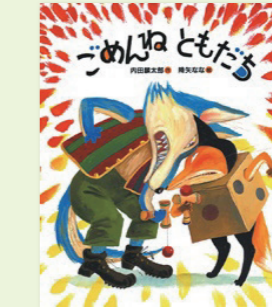
大ピンチずかん
鈴木のりたけ／作
小学館 2022年
人生には大ピンチがたくさんおこります。でも、この本を読んでいればだいじょうぶ。あわてずにのりこえることができます。



ふじさんにつぼんいち!
峯村温／他写真
佐野充／監修
ひさかたチャイルド 2022年
日本一たかくて、うつくしい山「ふじさん」。きれいなしゃしんをたのしみながら読んでください。



タンタンタンゴはパパふたり
ジャスティン・リチャードソン、ピーター・パーネル／文
ヘンリー・コール／絵
尾辻かな子、前田和男／訳
ポット出版 2008年
パパ2人でペンギンの赤ちゃんを育てるおはなしです。きょう力して、あいじょうたっぴり、一生けんめいそだてるようすを見てみましょう。



ごめんねともだち
内田麟太郎／作
降矢なな／絵
偕成社 2001年
「ごめんね」って、なかなかいえないよね。思わずなみだが出てしまうようなあたたかい気持ちがあじわえます。



おこだでませんように
くすのきしげのり／作
石井聖岳／絵
小学館 2008年
いつもおこられてばかりのぼく。七夕さま、ぼくのねがいはね…。ぼくのこころがぐんぐんとせまってきます。



エルマーのぼうけん
ルース・スタイルス・ガネット／さく
ルース・クリスマン・ガネット／え
わたなべしげお／訳
福音館書店 1963年
ちえをはたらかせて、むずかしいもんだいをかいけつしていくエルマーのぼうけんにみんながわくわく！さあ、つぎはなにがおこるの？



せかいでいちばんつよい国
デビット・マッキー／作
ながわちひろ／訳
光村教育図書 2005年
とてもかわいく、うつくしい絵をあじわいながら、本当の強さについて考えてみませんか。



めっきらもつきらどおんどん
長谷川撰子／作
ふりやなな／画
福音館書店 1990年
「かんだ」がとなえるふしぎなじゅもん。あれあれ？日本のようかいを思わせるとうじょうじんぶつたちといっしょにあそびましょう。

保護者の方へ

乳幼児期は読み聞かせの体験から始まります。言葉を学ぶだけでなく、保護者の声や抱かれた肌のぬくもりを通して愛情を感じ取り、情緒の安定を得るとともに、その楽しさを読み手と共有することで、非言語のコミュニケーション能力を身に付けていく効果があります。そして、成長するにつれ、物語の中の主人公と自分を重ねて楽しむ読書から、主人公と自分を分け、物語を客観的に見つめる読書になっていきます。やがて、読書体験と自分の実体験とを照らし合わせ、比べたり、重ねたりすることで、自分の知識や経験が社会の中でどのような意味をもつのか等を理解することになるでしょう。

山梨県子ども読書活動推進実施計画（第4次）より抜粋